

この記事は、2007・10/08 現在の木津川上流事務所のホームページ
を紹介するものです。

遊水地完成後の湛水域
遊水地完成すると上野地域の氾濫を防止できます。とあります

完成後の湛水域がなく遊水地にて氾濫防止は可能であり
浸水地域の表示はありません。

よって、上野地区浸水対策は川上ダムその他の方法によらなくても
現行の遊水地事業で可能です。
投稿者 伊賀市 小原 善弘

上野遊水地事業

遊水地をつくることで旧上野市周辺を河川の氾濫から守ります。

[概要](#) > [整備効果図/戦後最大湛水域](#) > [遊水地完成後の湛水域](#) > [施設概略](#)

概要

上野遊水地計画は従来より上野盆地に常習的な湛水被害をおよぼしている湛水域 540ha(戦後最大湛水域)のうち、約 250ha の区域に計画遊水地として大出水時に一時的に洪水を湛水させ流量調節機能を残しつつ旧上野市周辺の治水対策を行う目的で立案されたものである。

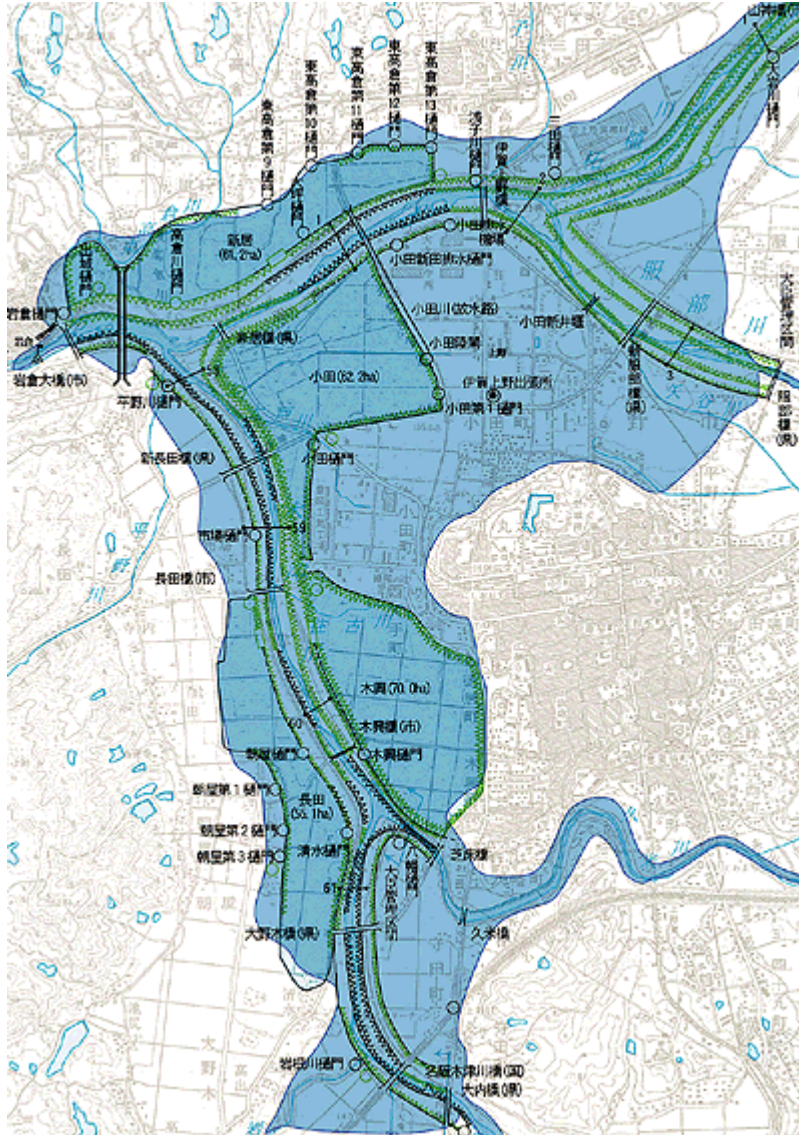
上野遊水地は、4 遊水地(長田、木興、小田、新居)に区分し計約 250ha の有する約 900 万 m³の湛水能力を用いて、岩倉地点で調節が行われる。このため各遊水地に 1ヶ所づつ越流堤を設け本川流量が一定量以上になった場合に自然越流方式で横越流させる。

また、遊水地内の湛水は本川水位の低下に応じて各遊水地に設けた排水門により自然排水させる。

整備効果図(上野遊水地)

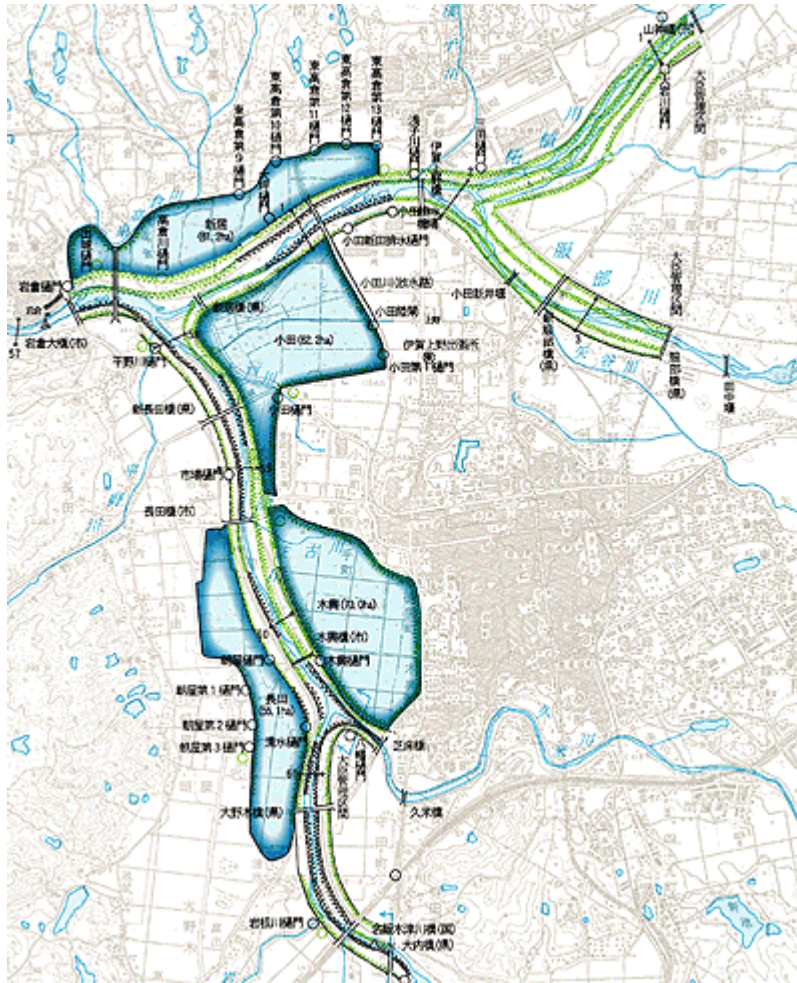
戦後最大湛水域(上野地区氾濫図)

流域の90%は山地、10%は名張盆地を中心とした平地。盆地の中心部に名張市街地があります。

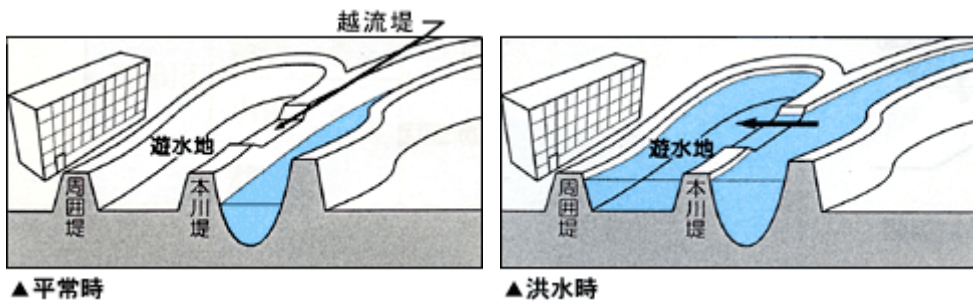


遊水地完成後の湛水域

4 遊水地が完成すると上野地域の氾濫を防止できます。



(河川の洪水が一定の高さになると遊水地に流れ込む施設)



◀ 戻る 次へ ▶

▲上に戻る